

意思
ある
卵**第40期 中間報告書**

平成23年4月1日～平成23年9月30日

 **株主のみなさまへ**

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの東日本大震災により被災を受けられた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに、第40期上期の事業の概況をご報告申し上げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

■営業の概況

食品業界におきましては、東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下や電力供給の問題等もあり、厳しい状況のまま推移しました。また、雇用情勢・所得の低迷により、個人消費が低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、鶏卵関連事業において東日本大震災により被災した関東工場（茨城県）が全面復旧する1ヶ月以上の間、他工場からの生産応援体制により、安定的な製品提供に努めてまいりましたが、東日本の需要の減少等により販売数量が減少しました。

また、調味料関連事業におきましては、一時的にカップめんや即席めんの需要の増加があったものの新製品の販売が苦戦していることから売上高が若干減少しました。

損益面につきましては、鶏卵業界におきまして、震災の影響による全国的な鶏卵の供給不足により鶏卵の需給がタイトに推移し、鶏卵相場の上昇等により原料買付単価が上昇した結果、前年同期の業績を上回る結果には至りませんでした。

代表取締役社長
藤井 徳夫**■今後の見通し**

今後のわが国経済は、円高・欧州の金融不安・欧米景気の減速など新たな懸念材料が浮上し、冬場には電力不足が懸念されるなど大小様々な諸問題を抱えておりますが、今後の需要動向といたしましては、震災の影響で被災した企業の復旧や資材不足からの脱却により東日本の需要が回復に転じると見込んでおります。このような状況をふまえ当社グループといたしましては、安定的な製品供給を行うことを第一と考え、お客様に満足いただけるサービスを柔軟に打ち出し、販路を拡大すべく努力してまいります。

また、昨年度末に発生しました鳥インフルエンザや東日本大震災の教訓を得て、リスクの見直し等を行っており、さらなる事業継続性の強化を図ってまいります。さらには、需要予測のスピードをあげ、鶏卵市況を注視し、営業・購買・製造との連携強化を図ることで、お客様のニーズに即応できる体制を整えてまいります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

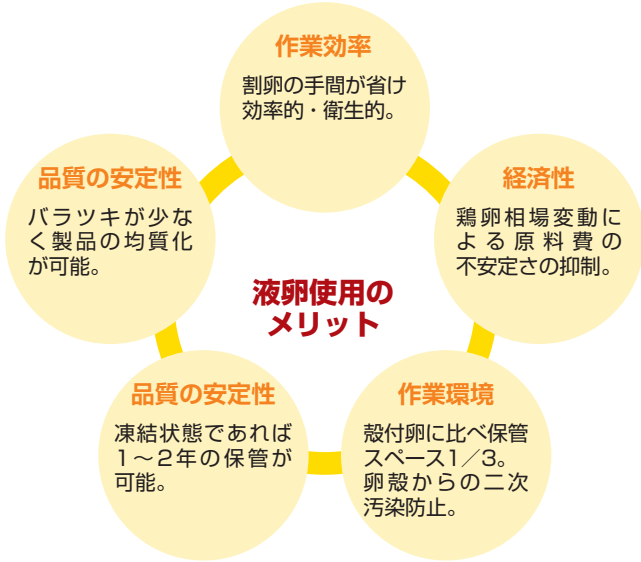
平成23年12月

**▶ 売上高****5,383** 百万円
1.2 %減**▶ 営業利益****317** 百万円
18.4 %減**▶ 四半期純利益****148** 百万円
47.7 %減

Business Outline

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「冷凍卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。



液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵 調整全卵	殺菌	生・凍結 生・凍結	ケーキ、洋菓子 パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

商品ラインナップ



液卵



ホール



卵黄



全卵



卵白



茶碗蒸しベース



冷凍卵



冷凍卵ミニパック・全卵



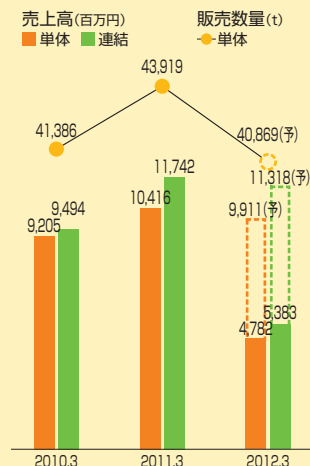
冷凍卵ミニパック・加糖卵黄



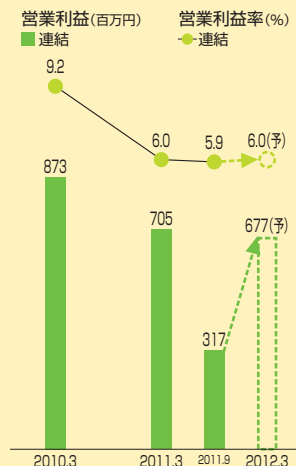
冷凍卵ミニパック・卵白

決算ハイライト

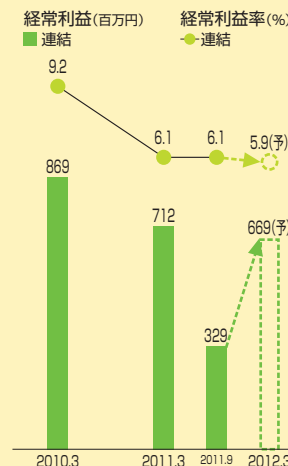
売上高／販売数量



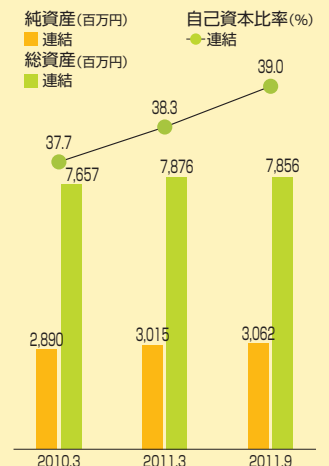
営業利益／営業利益率



経常利益／経常利益率



総資産／純資産／自己資本比率



ニーズに応える安定供給

三位一体の供給体制



■ 独立系最大手の強みを活かして

食の基本インフラとも言うべき卵市場は、安定した成熟市場。その中であって、液卵をはじめとする加工卵の市場は着実に広がっています。当社は、そんな液卵市場のシェアを分け合う大手メーカーの中で唯一の独立系メーカー。系列に縛られない自由な経営環境のもと、地域密着・顧客密着の営業体制を確立し、着実な成長を続けてまいります。

■ お客様重視のネットワーク

当社は、関東、東海、関西、北部九州という大消費地に工場を立地しており、このお客様重視の工場立地政策も積極的な市場開拓を可能にする大きなアドバンテージになっております。

安全・安心のために



品質管理体制

平成11年、食品衛生法施行規則等の改正により液卵の規格基準が定められたことに伴い、品質管理のさらなる充実を目指して、製造工程における危害分析を行い、重要管理点を常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・冷凍卵を提供できる体制を確立しております。



温度管理体制

液卵・冷凍卵の原料となる鶏卵は入荷後8℃以下の冷蔵庫に保管され、割卵後の液卵は、自動記録による温度・時間が監視可能な殺菌機により適正に殺菌。殺菌された液卵は急速に3℃まで冷却・充填後、温度計を搭載した配送車でお客さままでお届けしております。

さらなる安心のために

当社では、安全で高品質の液卵・冷凍卵を製造するためHACCPに準じて、原料入荷からお客さまにお届けするまでの工程をシステム管理し、チェック体制を強化しております。このように、安全で安心な製品を提供するため、最新鋭設備を導入し、常に衛生的・効率的に生産できる工場を目指してまいります。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	3,548	3,633
固定資産	4,328	4,222
有形固定資産	4,045	3,952
無形固定資産	22	18
投資その他の資産	260	252
資産合計	7,876	7,856
【負債の部】		
流動負債	2,538	2,606
固定負債	2,322	2,186
負債合計	4,861	4,793
【純資産の部】		
株主資本	3,034	3,082
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,216	2,265
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	△18	△19
その他有価証券評価差額金	△18	△19
純資産合計	3,015	3,062
負債純資産合計	7,876	7,856

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 (平成22年4月1日~ 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成23年4月1日~ 平成23年9月30日)
売上高	5,448	5,383
売上原価	4,314	4,338
売上総利益	1,133	1,045
販売費及び一般管理費	743	727
営業利益	389	317
営業外収益	27	26
営業外費用	18	14
経常利益	398	329
特別利益	15	-
特別損失	19	57
税金等調整前四半期純利益	394	271
法人税、住民税及び事業税	127	111
法人税等還付税額	△14	-
法人税等調整額	△2	11
四半期純利益	284	148

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。



会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号 イフジ産業株式会社
(英訳名: Ifuji Sangyo Co., Ltd.)

設立年月日 昭和47年10月3日

資本金 4億5,585万円

本社所在地 〒811-2312
福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1
TEL 092-938-4561 (代)

従業員数 92名 (臨時従業員は除く)

事業部 福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1
TEL 092-938-4561

関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1
TEL 0774-99-4801

名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7
TEL 0566-72-1611

関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17
TEL 029-248-2311

グループ会社 日本化工食品株式会社
株式会社春日ビル

役員

代表取締役社長 藤井 徳宗 夫
専務取締役 藤井 賢次 郎
常務取締役 池田 本 勇
取締役 坂本 敬
取締役 原 見 文
取締役 見 島 正
監査役 (常勤) 高 宮 哲
監査役 近 藤 隆
監査役 酒 井 善
浩



http://www.ifuji.co.jp ▲動画TOP画面

◆ホームページのご案内

決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。またイフジ産業がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください。



株式の状況 (平成23年9月30日現在)

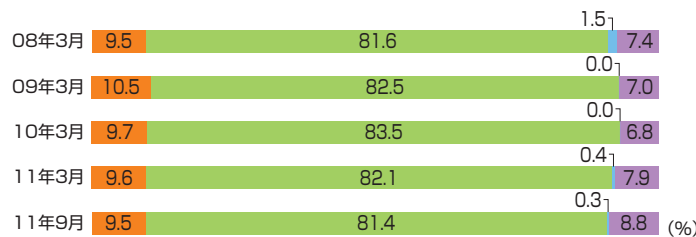
発行可能株式総数 16,792,000株

発行済株式の総数 5,563,580株

株主数 2,861名

所有者別分布状況

	08年3月		09年3月		10年3月		11年3月		11年9月	
	千株	千株	千株	千株	千株	千株	千株	千株	千株	
■ 金融機関	530	585	540	533	527					
■ 個人	4,542	4,590	4,644	4,571	4,530					
■ 外国法人・外国人	82	0	1	20	18					
■ その他法人	410	388	379	439	489					



株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2924

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株主ご優待について

贈呈基準 毎年3月31日現在の株主に対し、全国たまたご商業協同組合が発行する「たまたごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。
株式数100株以上1,000株未満 一律500円(100円券×5枚)
株式数1,000株以上 一律2,000円(100円券×20枚)

利用方法 全国の主な百貨店およびスーパー等で卵の購入の際に利用できます。

有効期限 発行日から5年

取扱店舗 全国の主な百貨店およびスーパー等 (詳しくは同封する書類に記載)



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告掲載方法 日本経済新聞

●お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主名簿管理人の合併について

※1) 当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先・電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所、電話番号の変更はございません)

※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。